



鳴の湖

第23号

【発行】
滋賀県更生保護女性連盟春の目覚め うぐい川の千本桜 (甲賀市 鮎河^{あいが})

春暖緩む候、会員の皆様におかれましては「安全で安心して暮らせるまちづくり」の実現に向けて日々各地域にて、また県連盟の活動にご尽力いただいております事に深く感謝申し上げます。

昨年度70周年を迎えさせていただきました今年度新たな気持ちにて出発させていただきました。しかし、世間を見ておきますと、地震や豪雨による災害、そして異常な暑さに悩まされる一年でした。また、世間を騒がせておりますSNS詐欺被害、見知らぬ人に殺傷されたりと世の中どうなってるのかと考えさせられる事件が報道されている今日この頃です。

更生保護という名を背負わせていただいている中で心痛む毎日です。最初に書かせていただきました通り「安全で安心して暮らせるまちづくり」を目指して活動をさせていただいている以上、もつともつと活動内容を考えなければならぬのかかと首をかしげる事となります。

考えてみれば時代の流れに沿って活動内容を見直す時期に来ているのかとも思えます。発足以来築いて来



滋賀県更生保護女性連盟

会長 大原 和代

おせっかいおばさんでいつまでも

て下さった諸先輩の教えをもとに、また、若い方たちの考えも取り入れさせていただいておもうところでは、

70周年の講演で、日更女連盟の千葉理事長が各地区があつて県連盟があるからこそ日更女があるんですと言われました。同じく皆様の地区があればこそその県連盟ですので、皆様のご意見をお聞かせいただければ今後の活動へと生かさせていただきます。

近年新会員が増えない事は問題ではありますが、数だけではなく、思いを同じくする人達で動くことが重要だと思います。「犯罪が起こるのも地域であり、更生を支えるのも地域の力だ」と言われているように地域から犯罪者を出さない、明るく安心して住めるまちづくりへと、今一度私たちに何ができるのか、模索しながらいろいろな課題に取り組んでいけたらと思います。

何卒会員同士の絆の輪を深め「おせっかいおばさん」として更女の活動をお願いするとともに皆様方のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

地域に根差した更女活動



大津保護観察所長

宮山 芳久

更生保護女性会の皆様方には、平素から更生保護活動に御理解とご協力をいただいておりますことを、あらためて感謝申し上げます。

さて、更女会の皆様とお話をしていると、「地区更女会としてどのような活動に取り組んだらよいのか?」「会員の確保をどうするか?」といった声に接することが多くありますが、これは永遠のテーマかと思えます。

25年ほど前の話になりますが、私が高知県で更生保護婦人会(当時)の担当をしていた時も、研修会などでしばしば見掛けたテーマでした。当時の私は、「更生保護」という言葉を強調し過ぎていたのではないかと反省しております。

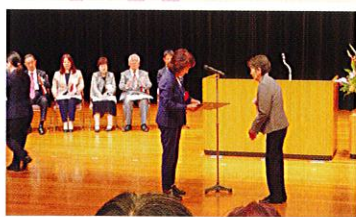
現在、更女会は子育て支援等、多種多様な地域活動に取り組まれています。更生保護活動も地域活動の一つですので、一見すると更生保護と関係がないような更女会の活動であつても、更生保護に繋がる面があるかと思えます。子育て支援はもちろん、「更生保護女性会」という名称の団体の方々が、地域で花を植える活動やお

更生保護制度施行75周年記念 滋賀県大会

令和6年10月24日(木)ピアザ淡海にて、県下の更生保護事業関係者が一堂に会し功績のあった方々に各種表彰の授与・伝達が行われました。更女からは93名の方が受彰されました。今後一層のご活躍を祈念いたします。



受彰式の様子



祭りなどのイベントで楽しそうに活動している様子を地域住民の方々が目にするだけでも、有意義なものであると思いますし、新たな会員の確保にも繋がっていくのではないのでしょうか。今後とも、地域に根差した明るく楽しい活動を展開していただきますよう、よろしくお願い致します。

受彰おめでとうございます

法務大臣感謝状

太田美智子 (高島地区)
山本 愛子 (野洲地区)
日和田喜美子 (彦根地区)

日本更生保護女性連盟 理事長表彰

北井 和子 (大津地区)
小久保照代 (高島地区)
棚橋 清子 (草津地区)
杉森 和子 (甲賀地区)
福山 喜子 (東近江地区)
杉江 弘子 (犬上地区)
大塚美保子 (長浜地区)

再犯防止民間協力者 滋賀県知事感謝状

佐々 佳子 (大津地区)
上田 和子 (甲賀地区)
濱田みね子 (湖南地区)
小松安希子 (東近江地区)
橋 恭子 (長浜地区)

敬称略

法務大臣感謝状を受彰して

彦根地区 日和田 喜美子



10月2日(水)東京国際フォーラムに於いて「更生保護制度施行75周年全国大会」が開催されました。私は、県連盟を代表して参加し、法務大臣感謝状をいただいております。

退職してから始めた更生保護活動ですが、いろんな方との出会いがあつて、私にとっては貴重な財産となりました。

これからも、更女活動を大切にしていきたいと思っています。

一般社団法人日本更生保護 女性連盟理事長表彰を受彰して

長浜地区 大塚 美保子

6月24日(月)東京のアルカディア市ヶ谷に於いて、「第61回日本更生保護女性のつどい」が開催されました。席上で身に余る連盟理事長表彰をいただき、偏に諸先輩や会員の皆様の長年にわたるご指導ご支援のおかげと感謝申し上げます。千葉理事長から、「ほっとけない精神で地域を

編む活動を続けてほしい」とのお話がありました。

これからも、地域関係者の方々と共に更生保護ボランティアとして、一層励んでまいりたいと存じます。

再犯防止民間協力者 滋賀県知事感謝状を受彰して

東近江地区 小松 安希子

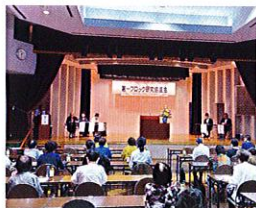
去る10月24日、7団体主催による「更生保護制度75周年記念滋賀県大会」が大津ピアザ淡海にて開催され、その席上、再犯防止民間協力者滋賀県知事感謝状を拝受しました。

犯罪や非行が複雑となり、ますます多様化するに伴い、更女会員への期待は大きくなりつつあるようです。微力ながらもその一端を担わされていたでいるのかなとの思いでいっぱいです。ありがとうございました。



第1ブロック

開催日 令和6年9月24日(火)
 場所 高島市観光物産プラザ大ホール
 講師 大津保護観察所長 宮山 芳久 氏



大津、高島両地区会員の皆様に参加していただき、今回は大津保護観察所長 宮山芳久様に「更生保護女性会の活動について」と題してご講演いただきました。

更生保護女性会が地域の皆様にどのような活動をしているか、保護司さんとかかわり等を知っていただく事、そして最も大切なのは無理なく楽しく活動する事であるとお話いただきました。私達も今後の活動に生かしていきたいと感じております。また、高島市長福井正明様からも、大津、高島地区が交流を深め活動の活性化や向上を期待するとのメッセージをいただきました。

私達は研究協議会で学んだ事、感じた事を共有し、今後の活動を行っていききたいと思います。

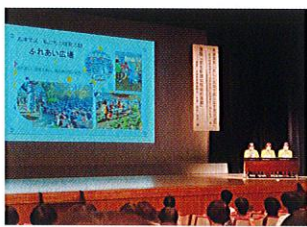
高島地区会長 大鉢 佳子

研究協議会



第2ブロック

開催日 令和6年9月20日(金)
 場所 湖南省市甲西文化ホール
 講師 大津保護観察所長 宮山 芳久 氏



お彼岸とは言え、まだまだ残暑が続く中でしたが、第2ブロック各市より310名の会員の出席のもと開催致しました。

ご講演の演題は「更生保護女性会の活動」でした。更女活動を大きく分けると①更生保護活動 ②矯正施設への支援 ③子育て支援 ④地域との連携・協働活動の4つがあります。更女の活動は③と④が中心となっているのです。子育て支援や地域の行事などに参加することで更生保護が広がっていくとのお話で、私たちの日頃の地道な活動を後押ししていただいた思いでした。

又、草津地区の実践発表では「楽しく笑顔で創り出す更女活動」をテーマに、寺子屋活動、夏休み絵画教室、こども園でのお茶会などユニークな取り組みをご紹介いただきました。

そして、最後のアトラクションは、湖南省市フルート演奏ボランティア「銀の笛」の方々に、一足早い秋の曲の数々を演奏していただき、格調高く大好評でした。

これからも「出来ることから、無理のないところで、楽しく」活動を進めてまいりたいと思います。

湖南地区会長 服部 ひろみ

第3ブロック

開催日 令和6年9月18日(水)
 場 所 甲良町公民館
 講 師 佛教大学副学長 原 清治 氏



残暑厳しい中でしたが、多数の会員様をお迎えし、開催することができました。

まず、甲良町拡大紙芝居ボランティア「ひよっこ」さんによる紙芝居上演。その後、開会行事に続き、佛教大学副学長の原清治先生から、『ポストコロナを生きる子どもたちの実態』と題してご講演いただきました。

コロナ禍による子どもたちへの影響は甚大なもので、「体験」の喪失(修学旅行や運動会などの学校行事の中止)が、子どもたちの健やかな成長の妨げになった、ということ。また、各データにより、いじめ認知件数や不登校児童生徒数が確実に増えてきている、という事実。そのような内容を、大変分かりやすくユーモアたっぷりに話してくださいました。そして、子どもの自尊感情を上昇させるためには、「お手伝い」が万能薬であることも教えていただきました。

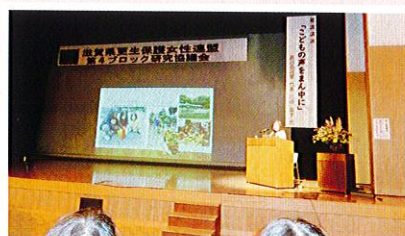
この研究協議会で学んだことを、今後の活動に生かしていきたいと思っています。

犬上地区会長 上野 初子

令和6年度 ブロック別

第4ブロック

開催日 令和6年9月19日(木)
 場 所 長浜市湖北文化ホール
 講 師 NPO 法人「芹川の河童」代表 川崎 敦子 氏



今年度の研究協議会は、残暑の中でしたが、180名の参加で開催できました。

最初にNPO法人「芹川の河童」代表の川崎敦子様から「子どもの声をまん中に」という演題でご講演いただきました。地域の方々を巻き込んで「若者の居場所」「子どもの居場所」として「誰にも会いたくないカフェ」「みんなの食堂」を運営しておられることなどのお話を聴きました。生きづらさを感じている若者や子どもたちにどのような支援をしていけばいいのか大きなヒントをいただきました。

次に分区活動の交流を深めるために、米原地区1分区・長浜地区3分区の活動報告を行いました。どの分区も会員の減少や高齢化により今までのような活動ができにくくなって来ています。地域の実態と分区の現状に合わせることで工夫をこらした活動ができるということを学びました。

最後にアトラクションとして「小さな音楽会」を行いました。ピアノとバイオリンの音色に心癒やされるひと時でした。

今後も、地域に根ざした身近な課題について話し合い、笑顔と温かなつながりを大切にしながら、楽しく和やかに活動していきたいと思っています。

長浜地区会長 高橋 律子

リーダー研修会に参加して

甲賀地区 渡邊 満栄



5月28日に、90名の会員参加のもと、リーダー研修会が実施されました。

初めに、一般公開ケース研究会についての研修が行われました。今年度の社会を明るくする運動のテーマは、「想う、ときには足をとめ」です。各地域に戻って、立場の違う支援者が手を携えて、ネットワークを作り支援していけるように、研究会の進行について模索しました。参加した役員が中心になり有意義な研究会が、各地区で実施されました。

次に、近畿更生保護女性連盟協議会のテーマである「更女の居場所と出番はありますか？」について、京都府と兵庫県の代表の方から講話がありました。それぞれ素晴らしい取組みをされていて感心しました。私達も、いろいろな場所で更女の出番を作っていかなければならないと思います。

最後に小グループに分かれ、地域の活動について話し合いました。私達が地域のリーダーとして、これからの更女活動を推進していきたいと思っています。



近畿更生保護女性会員研究協議会に参加して

彦根地区 辻 八寿子

10月3日、「更女の居場所と出番はありますか？」というテーマで開催されました。

近畿2府4県の地区更生保護女性会員160名が参加し、各府県代表の発表とグループ討議でした。

私は、滋賀県代表で発表

させていただきました。彦根地区は、更生保護女性会員でする活動と、「ネットワーク協議会の息の長い支援を目指して」の独自の活動があります。

彦根保護区内にある保護司会、更女会、BBS会等が協働してFくらぶ、Cくらぶ、Tくらぶの活動をしています。年齢、性別、地域にこだわらず、多くの人が自由に集える居場所です。あなたは、一人じゃないよ、あなたを思っている人がいることを知ってほしいと呼びかけ、寄り添って取り組んでいます。

多くの地域での取り組みや努力されていることなどお聞きし、有意義な協議会でした。



中央研修会に参加して

日野地区 奥野 禮子

10月15日、16日の2日間、東京アルカディア市ヶ谷私学館で開催された中央研修に参加させていただきました。初日は午後から始まり、千葉景子理事長、押切久遠法務省保護局長より、ご挨拶及び、講話がありました。続いて立正大学法学部教授・保護司の丸山泰弘氏より「刑務所を通して考える社会」と題した講義が行われ「世界刑務所のふしぎ発見」のお話から、受刑者に休暇制度がある国があり、服役中に休暇制度を利用し家族の元に帰れるとの事、受刑者にとって何より大事なことは帰る場所があること、それが再犯防止につながる、とのお話はとても印象的でした。

2日目は、更生保護施設長の永山正明氏、株式会社生ぎ直し代表の千葉龍一氏による講義が行われました。

その後、グループに分かれ各地区の活動の共有、及び意見交換会があり、これまで永年続けてきた活動をこれからも継続していくことが大切、さらに地域と連携して楽しんで活動することが会の活性化につながっていくことを学び、今後の課題である地域の活性化に努めていきたいと思っています。



新会員研修に参加して

長浜地区 奥川 君枝



11月27日、大津保護観察所主催のこの研修要項には、『更生保護の概要及び保護観察対象者との接し方等の基礎知識と技能を習得し、保護観察所との連携を促進し、活動の充実発展に資すること』と記され、緊張と不安で、身が引き締まる思いでした。

同時に、(難しそう...)と重苦しさを感じました。

まず、更生保護女性会に期待する役割についての説明でした。活動内容がわかり意欲も少しわきました。

次に民間ボランティアの方々の活動をビデオで紹介されました。その活動の苦労、大変さ、そしてボランティアの方々の思いに、頭の下がる思いでした。

最後に、連盟の方から、更女の活動について話がありました。そのなかに「八重桜・ホゴちゃん・サラちゃん・オコジョ」の話もあり、長浜地区の大会で見かける人形を思い出し、ホッと心がなごみました。

たくさんの方々と同席し、共に研修を受けることで、想いを同じくする人達との出会いや、経験を共有することの大切さを実感しました。

自分の家族を大切にすることはもちろん、日常の生活で余裕のできた時間には、町内の人、地域の人に温かい思いやりをもって接し、明るい地域社会を支える活動を実践していきたいと思いました。



中堅会員研修会に参加して

野洲地区 辻 律子

入会してから早や10年。気持ちの上では初心者である私が、中堅会員の研修にプレッシャーを感じながら参加させていただきました。

テーマは『更女の居場所と出番』です。まず、初めに宮山所長様の講話「これからの更生保護女性会の活動」では、社会を明るくする運動がメインで無理なく楽しく活動しようと言われました。その後、近畿更生保護女性会研究協議会の報告があり、グループ討議に移りました。皆さん初対面にもかかわらず、一つの目的に向かっている者同士、すぐに打ち解けて次から次と意見が出て、30分程度の時間があつという間に過ぎました。

どの地域もやはり同じ様な悩みを抱えているようですが、この会の会員同士がまずはお互いに地域に根差した活動を、外から見ても魅力的な会にしなければ人は集まらないのではないかと思います。



県更女連盟日帰り研修会に参加して

栗東地区 田村 由美子

11月6日、京都市にある母子生活支援施設「本願寺ウィスタリアガーデン」へ、滋賀県更生保護女性連盟の日帰り研修として、訪問してきました。

この施設では、母子家庭などの自立支援、家庭での養育が困難な親子への援助や、DVからの避難の受け入れと他種多様にわたるサポートをされていました。

母子で快適に生活できるように一家族ずつの部屋になっています。また、施設の中で子どもたちが楽しめるイベントがあったり、お母さんたち向けのイベントがあったりと、温かい雰囲気、温かいスタッフ、の元で安心して生活されています。寄り添うことの大切さを再度確認する研修になりました。

その後、祇園をどり鑑賞、北野天満宮を参拝して帰路に着きました。会員同士の交流も深まり、有意義な研修となりました。



令和6年度滋賀県更生保護女性連盟役員名簿

県連盟では事業を推進するため、総務・研修・渉外の3部制をもうけています。

役職	地区名	氏名	所属部	会員数	役職	地区名	氏名	所属部	会員数
会長	甲賀	大原 和代			理事	湖南	服部 ひろみ	渉外	107
副会長	守山	上路 美智代	総務部長		理事	近江八幡	市川 純代	研修	262
副会長	甲賀	辻 好子	研修部長		理事	日野	奥野 禮子	研修	74
常務理事	米原	北村 和子	総務副部長	145	理事	東近江	櫻 直美	総務	323
常務理事	高島	嶋崎 ひな子	研修副部長		理事	愛荘	堀内 恵美子	渉外	35
理事	大津	小島 和代	研修	459	理事	彦根	辻 八寿子	研修	143
理事	高島	大鉢 佳子	渉外	182	理事	犬上	上野 初子	研修	53
理事	草津	中村 敏枝	渉外	305	理事	長浜	高橋 律子	総務	389
理事	栗東	田村 由美子	総務	74	監事	野洲	齋木 久子		
理事	守山	今井 みつ子	渉外副部長	128	監事	東近江	廣田 綾子		
理事	野洲	井狩 二三江	総務	115					
理事	甲賀	渡邊 満栄	総務	768					
									会員合計 3,562

令和6年度 行事報告

年月日	行事名	会場名	年月日	行事名	会場名
令和6年4月8日	常務理事会	大津保護観察所	10月3日	第53回近畿更生保護女性会 員研究協議会	京都府交流プラザ、テ ルサ
4月22日	令和5年度会計監査	大津保護観察所	10月15～16日	更生保護女性会員中央研修	アルカディア市ヶ谷
4月22日	理事会(令和5年度事業報告、 決算報告)	大津保護観察所	10月24日	更生保護制度施行75周年記念 滋賀県大会	ピアザ淡海
5月28日	リーダー研修会	大津びわ湖合同庁舎	11月27日	新会員研修	大津びわ湖合同庁舎
6月24日	第61回“日本更生保護女性の 集い”	アルカディア市ヶ谷	12月3日	組織強化研修	更生保護会館
7月	第74回“社会を明るくする 運動”強調月間	全県下	12月9日	常務理事会・理事会	大津保護観察所
7月	一般公開ケース研究会・ミニ 集会	各地区	12月12日	中堅会員研修	大津びわ湖合同庁舎
8月26日	常務理事会・理事会	大津保護観察所	令和7年1月	前進座観劇	京都劇場
9月18日	第3ブロック研究協議会	甲良町公民館	2月26日	常務理事会	大津保護観察所
9月19日	第4ブロック研究協議会	湖北文化ホール	3月1日	「鳴の湖」23号 発行	
9月20日	第2ブロック研究協議会	甲西文化ホール	3月18日	理事会(予定)	大津保護観察所
9月24日	第1ブロック研究協議会	高島市観光物産プラザ			

各種団体等の行事に随時出席

資金造成事業
前進座観劇

今年の初春公演。あたかもその時代にいるかのような思いになった利休とお吟の所作や言い回し。感動の時を過ごしました。

今年もたくさんのご参加をいただきありがとうございました。連盟の資金造成につながる大切な事業です。ぜひ、来年もご協力いただきますようよろしくお願いします。



編集後記

人と人のつながり、地域とのつながり等、人が長く元気でいるためには「つながり」が最も大切なことです。私達は会員の方々のつながりを大切に、いつまでも元気でいられますように願っています。

「鳴の湖」第23号発刊に際し、ご寄稿いただきました皆様に心よりお礼申し上げます。

(総務部一同)